

## 発見!!縄文時代の石の敷かれた家の跡



西桂町宮の前遺跡で検出された敷石住居



敷石住居調査風景 (宮の前遺跡)

山梨県埋蔵文化財センターでは、5月上旬から南都留郡西桂町宮の前遺跡の発掘調査を行ってきました。調査の結果、宮の前遺跡は今から約4000年ほど前の縄文時代中期後半から後期の初めごろの遺跡であることがわかりました。遺跡からは当時の人々が使っていた土器や石器が数多く出土すると同時に、床に石を敷いた敷石住居しきいしじゅうきょと呼ばれる家の跡が検出されました。今号ではこの不思議な縄文時代の石敷きの家の跡について、県内の事例を紹介したいと思います。

### しきいしじゅうきょ 敷石住居とは

縄文時代の家の跡といえば、地面を掘りこんで造った竪穴式住居たてあなしきじゅうきょが一般的ですが、縄文時代中期の終わり頃から後期の中頃にかけて、関東から中部地方の石材の得やすい地域では敷石住居しきいしじゅうきょがみられます。多くが柄鏡えかがみのような形となることから、柄鏡形敷石住居とも呼ばれています。山梨県は石材の得やすい地域だったため、県内各地で敷石住居しきいしじゅうきょがみつかっています。

石の敷き方には、床全面に敷く例、住居のまわりに敷く例、炉ろの周辺を中心に部分的に敷く例などいくつかのパターンがあり、時期によっても敷石の方法に一定の傾向があるようです。

お お つ き い せ き  
**大月遺跡**

(大月市)

大月遺跡は大月市内の県立都留高等学校敷地内にあります。その存在は明治時代から知られており、現在までに8回の発掘調査が行われています。

今回紹介する敷石住居しきいしじゆうきよは、平成6年から7年にかけて山梨県埋蔵文化財センターが調査を行った際に検出されたものです。右上の13号住居跡の写真を見て下さい。手前が丸く広く、奥の方が細長くなっており、その形が柄鏡えかがみのようになっているのがわかります。奥の細長い部分は住居の出入り口と考えられ、壁にまで石が敷かれています。手前の丸い部分が生活空間と考えられ、床のほぼ全面に石が敷かれ、中央には石で囲まれた炉ろの跡が検出されました。

右下の写真を見て下さい。2軒の柄鏡形えかがみをした敷石住居しきいしじゆうきよが向き合うように検出されました。右側の7号住居跡はほぼ全面に石が敷かれているのに対し、左側の10号住居跡は石が敷かれていない部分があり、石の敷き方に違いがみられます。

また、この3軒の敷石住居しきいしじゆうきよからは、お祭りに用いられたと考えられる特殊な石器が出土しています。これは、縄文人が敷石住居しきいしじゆうきよの中でお祭りを行った可能性を示すもので、大変興味深い事例となります。



大月遺跡 13号住居跡



大月遺跡 左10号住居跡、右7号住居跡

な か や い せ き  
**中谷遺跡**

(都留市)

中谷遺跡は都留市にある遺跡で、今回紹介する敷石住居しきいしじゆうきよは、リニア実験線建設に伴い山梨県埋蔵文化財センターが平成5年から6年にかけて行った発掘調査で検出されたものです。

右の写真を見て下さい。住居の出入り口や床はもちろん、生活空間となる丸く広い部分の壁の一部にも石が敷かれており、非常に丁寧ていねいにつくられた敷石住居しきいしじゆうきよといえます。そしてこの敷石住居しきいしじゆうきよからもお祭りに用いられたと



中谷遺跡で検出された敷石住居

考えられる特殊な石器が3点も出土しました。右の写真を見て下さい。手前に石で方形に囲まれた炉がみえますが、その先の矢印で示した細長い棒のような石が、その石器のひとつです。子孫の繁栄を願うお祭りに用いられたという説や、火に関するお祭りに用いられたという説などがあります。

いずれにしても、大月遺跡同様敷石住居の中でお祭りを行ったと考えられる貴重な事例です。



敷石住居内からみつかった特殊な石器（矢印の先）

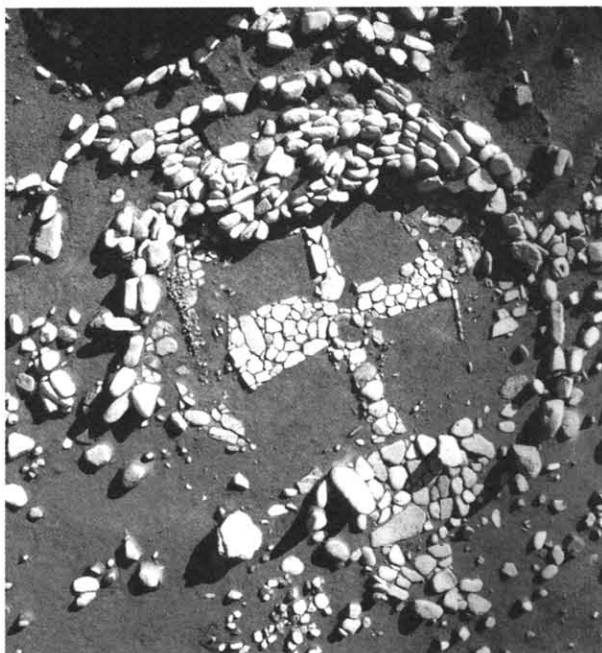
## しお せ した っばら い せき 塩瀬下原遺跡

(大月市)

塩瀬下原遺跡は大月市にある遺跡で、今回紹介する敷石住居は、下水道処理場建設に伴い山梨県埋蔵文化財センターが平成10年に行った発掘調査で検出されたものです。

下の写真がその敷石住居ですが、左右2枚は同じ住居の写真です。左側は住居の上部に多くの石が残っている状態で、その石を取り上げ、掘りあがった状況が右側の写真となります。炉を中心として十字に石が敷かれ、そのまわりを方形に小さな石が敷かれています。さらにその外側を2重に石がめぐっています。出入り口と考えられる住居下部の張り出し部には全面に石が敷かれています。このような複雑な石の敷き方の住居は、他にあまり例がなく珍しいもので、その規模も、上下約10m、左右約9mと非常に大きいものです。調査の結果、この敷石住居は同じ場所で建て替えを行っていることがわかり、その結果このような複雑な石の敷き方となったと考えられています。

また、この敷石住居からもお祭りに用いられたと考えられる、棒状の特殊な石器が検出されました。規模の大きさや珍しい敷石の方法なども考慮すると、この住居にはお祭りを取り仕切るような特別な身分の人が住んでいたかもしれません。以上のことからこの敷石住居は大変注目される事例となります。



敷石住居の上部に石が乗ってる状態



敷石住居上部の石を除いた状態

山梨県埋蔵文化財センター創立20周年記念事業のお知らせ

## 鼎談 ■ 縄文トーク2002 in山梨

～祈りの造形に込められたもの～



渡辺 誠さん



竹下景子さん



苅谷俊介さん



大塚初重 所長

名古屋大学名誉教授 渡辺 誠さん、女優 竹下景子さん、俳優 苅谷俊介さんをお迎えし、大塚初重所長を交え、山梨の縄文土器の文様から縄文人の祈りや生活の様子を読みとり、熱く語って頂きます。多くの方々のご来場をお待ちしております。

開催日時 平成14年9月29日(日曜日)  
開場時間 午後1:00～  
開演時間 午後1:30～  
入場料 無料(申し込みにより定員になり次第締め切り)  
開催場所 山梨県立県民文化ホール(小ホール)  
山梨県甲府市寿町21番1号 JR甲府駅南口下車 徒歩20分  
申込方法 往復はがきにより9月13日(金)までに下記あてに申し込みをお願いいたします。  
申込先 〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923  
山梨県埋蔵文化財センター内20周年記念実行委員会あて  
TEL 055-266-3016 FAX 055-266-3882



山梨県埋蔵文化財センター創立20周年記念展示会のお知らせ

## 『the Jomon』

山梨が世界に誇る文化遺産

豪華で神秘的な文様を施した縄文土器約150個体を展示します。  
強烈な個性を持った山梨の縄文文化を、この機会に是非ご鑑賞下さい。

展示場所 県民情報プラザ  
山梨県甲府市丸の内1-8-5 JR甲府駅南口下車 徒歩5分  
展示期間 平成14年9月7日～平成14年10月6日(期間中無休)  
展示時間 午前8時30分～午後9時  
入場料 無料  
問い合わせ先 山梨県埋蔵文化財センター内20周年記念実行委員会あて  
TEL 055-266-3016 FAX 055-266-3882

### 編集後記

夏本番を迎え、今年も県内各地で発掘調査が始まっています。今号ではなかでもいち早くその成果がみられた、西桂町宮の前遺跡の敷石住居をきっかけに、その特集を組んでみました。また、当センターは今年創立20周年を迎えます。記念の講演会や、展示会を上記のとおり行います。ぜひこの機会に足をお運び下さい。

maizou-bnk@pref.yamanashi.jp(編集部)

山梨県埋蔵文化財センター

埋文やまなし 第12号

発行日 2002(平成14)年7月  
編集 山梨県埋蔵文化財センター  
発行 〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923  
TEL055-266-3016 FAX055-266-3882  
印刷 (株)峽南堂印刷所